

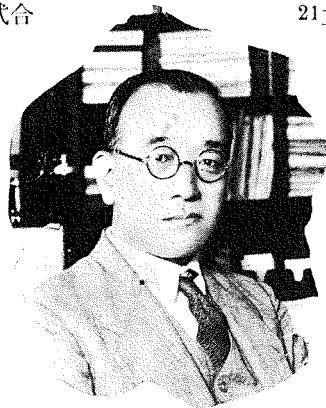
(1) 丹那隧道熱海口附近

★ 世界的難工事 ★

丹那隧道完工す

大正七年四月一日鐵道工業株式合資會社の手によつて熱海口に同じく七月十五日より鹿島組によつて大竹口に着手して以來十有七年の星霜と工費 3,000 萬圓を費した丹那隧道は延長25,614 呎を貫き、昨年六月十九日先づ水抜坑の貫通を見て勝利の凱歌を擧げて以來銳意完工に向つて努力中の處、此程愈々完成し、十月一日より列車の試運轉を行ひ十二月一日には一般列車の開通を見る運びとなつた。

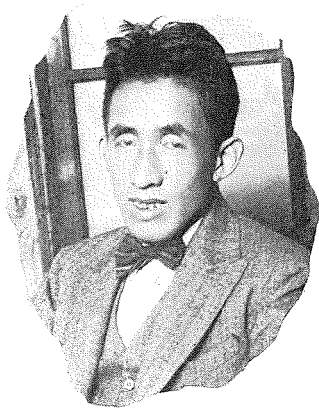
願ればこの十有七年は實に惡戦苦闘の十七年と云ふべく、大正十年四月には熱海口に於て三十三名が生理めとなり十六名の生命を奪はれ、十三年には大竹口の斷層によつて十六名の溺死者を出し、復舊に16ヶ月を要し、十四年五月には同大竹口に於て每秒



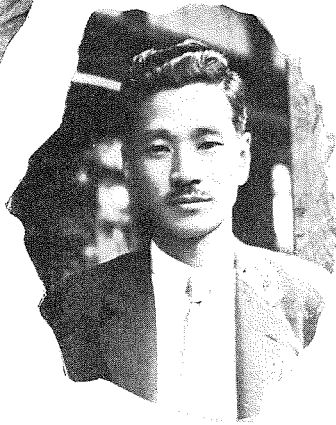
鐵道省熱海建設事務所長
高井 信一 氏

21立方尺の大湧水ありて復舊に44ヶ月を費し、同年十二月熱海口の斷層事故では復舊に42ヶ月を要し昭和五年六月には丹那大斷層に遭遇して復舊に34ヶ月をとられ、北伊豆大地震では中心線に喰違が生じて斷層鏡面を顯し、大竹口にては三名の犠牲者を出す等工事に携つた従業員諸氏の勞苦は眞に想像の限りではなかつた。

此間大正十四年頃この工事が意外の難工事とわかるや世は擧げて丹那隧道の貫通を疑ひ著名なる一外國技師は「日本の技術を以てして之を征服する事は不可能だ」とまで斷言し、計畫の無暴々なじるもの、工事の中止を要求するもの等當局に對する非難の聲はごうごうとし巷に満ちたのであつた。

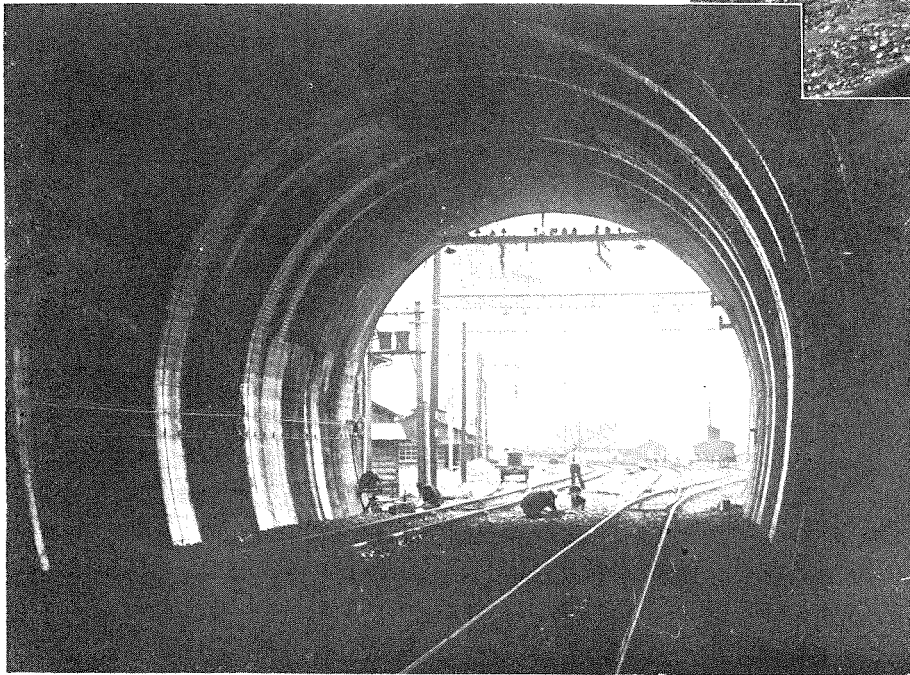
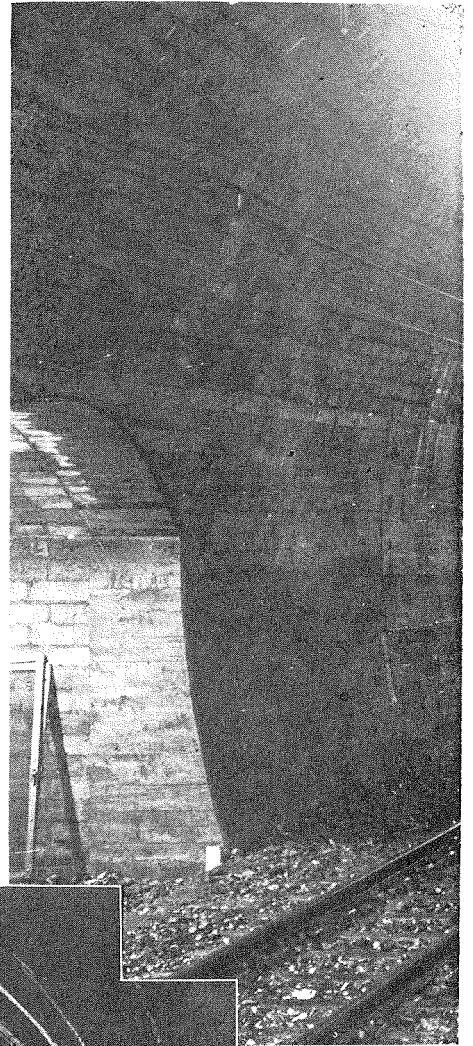


鐵道省熱海建設事務所
鐵道技師
石川九五氏



鐵道省熱海建設事務所
庶務主任
鳥居秀夫氏

(3・丹那隧道中央部)



(2・丹那隧道熱海口)



（4）丹那隧道大竹口



